

6 健康づくり文化創造プラン（第四次）の参酌標準

(1) 重点目標項目

＜基本目標＞健康寿命を令和11年までに1年半以上、令和22年までに3年以上延伸させる

項目	定義(データベース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データベース
健康寿命	国民生活基礎調査において、「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」の質問に対し、「ない」と回答した者を健康な状態＝日常生活に制限がない状態とし、「ある」と回答した者を不健康な状態とする。厚生労働省より提供された健康寿命算定プログラムに、5歳階級ごとの該当人数を当てはめ、健康寿命を算出する。(国民生活基礎調査)	71.69年 (33位)	H28	71.58年 (45位)	R1	73.08年	健康寿命の増	国民生活基礎調査 平均寿命:簡易生命表
		74.14年 (40位)		74.74年 (41位)		76.24年		
平均自立期間の延伸	介護保険の要介護度の要介護2～5の者を不健康(要介護)な状態、それ以外の者を健康(自立)な状態＝日常生活動作が自立している者とし(介護保険は0～39歳は対象外であるため、不健康割合は0と仮定する)、厚生労働省より提供された健康寿命算定プログラムに、5歳階級ごとの該当人数を当てはめ、健康寿命を算出する。(健康政策課調べ(厚生労働省より提供された健康寿命算定プログラムにより算出))	78.11年		79.74年			-	-
		83.74年	H26	84.39年	R2	延伸		
健康寿命と平均寿命の差の縮小	健康寿命:国民生活基礎調査 平均寿命:都道府県別生命表(厚生労働省公表) (都道府県別生命表の概況)	8.48年	H27, H28	9.76年	R1,R2	縮小	健康寿命の増	国民生活基礎調査 平均寿命:簡易生命表
		13.13年		13.17年				

I 日常生活における生活習慣病の発生予防

① 栄養・食生活

項目	定義(データベース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データベース
1日のうち少なくとも2食は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を行っている者の割合	自記式質問票により、「あなたは主食・主菜・副菜の揃ったバランスのよい食事をしていますか」の質問に対し、「毎食している」または「1日のうち2食はしている」と回答した割合。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	-		53.4%	R4	60%以上	50.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日である者の割合」

1日の食塩摂取量	成人男性	国民健康・栄養調査に準じた食物摂取状況調査を実施し、その結果として、1日当たりの食塩摂取量を求める。 (個々人の食塩摂取量(Na×2.54×1,000)を平均したもの。) (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	10.3g	H28	10.7g	R4	8g未満	7g	国民健康・栄養調査 ※国の指標では男女の区別なし
	成人女性		8.9g		9.2g				
1日の野菜の摂取量	成人	国民健康・栄養調査に準じた食物摂取状況調査を実施し、その結果として、1日当たりの野菜の摂取量を求める。摂取量には、漬物や野菜ジュースも含む。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	282.3g	H28	293.4g	R4	350g以上	350g	国民健康・栄養調査
	20～50歳代		257g		261.7g		50g増加	-	

## ②身体活動・運動

項目	定義(データベース)	平成29年		令和5年		令和11年	参考:国の指標(令和11年)	
		調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データベース
運動習慣者(意識的に運動する者)の割合	自記式質問票により、運動を「1回30分以上、週2回以上、1年以上継続している」と回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	H28	26.0%	H28	23.0%	R4	40.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標では20歳～64歳、65歳以上の年齢区分及び性別区分あり
			21.3%		22.1%			
日常生活における1日の歩数	歩数計を用いて測定した1日の歩数。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	H28	6259歩	H28	5926歩	R4	7100歩	国民健康・栄養調査 ※国の指標では20歳～64歳、65歳以上の年齢区分及び性別区分あり
			5284歩		5108歩			
筋力アップを目的とした活動を行っている者の割合(毎日している又は時々している)	自記式質問票により、筋力アップを目的とした活動を「毎日している」または「時々している」と回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)		—		35.0%	R4	—	
			—		34.8%		—	

## ③休養・こころの健康

項目	定義(データベース)	平成29年		令和5年		令和11年	参考:国の指標(令和11年)	
		調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データベース
ストレスを感じた者の割合(直近1ヶ月でストレスが大いにあったと感じた者)	自記式質問票により、「ここ1ヶ月間に不満、悩み、苦勞などによるストレスがありましたか」という質問に対して、「大いに」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	H28	19.3%	H28	9.5%	R4	—	
			19.6%		13.4%		10.0%以下	—

睡眠による休養を十分とれていない者の割合	自記式質問票により、「ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていきますか」という質問に対して、「あまりとれていない」、「全くとれていない」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	22.4%	H28	22.6%	R4	15.0%以下	80.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「睡眠で休養がとれている者の増加」 ※国の指標では20歳～59歳、60歳以上の年齢区分あり
----------------------	--	-------	-----	-------	----	---------	-------	---

④喫煙

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
喫煙する者の割合(喫煙をやめたい者がやめる)	国民生活基礎調査において、喫煙の状況に関する質問に対し、「毎日吸っている」、「時々吸う日がある」と回答した者。 (国民生活基礎調査)	32.0%	H28	26.7%	R4	20.0%		12.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標では男女別の区分なし
		5.5%		5.3%		3.0%			
未成年者の喫煙する者の割合 (注)	最近1年ぐらゐの間に「タバコをすったことがあるか」という質問に対して、「ときどきある」と「1～2度ある」を合計した割合。 (鳥取県青少年育成意識調査)	2.5%	H28	0.7%	R3	0%		0%	厚生労働省科学研究費による研究班の調査 ※国の指標では中学1～3年、高校1～3年の男女の平均
		4.6%		1.4%					
受動喫煙を経験した者の割合(場所別)	この1ヶ月間に、自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)があった者の割合。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	3.4%		3.8%					
		1.2%		2.7%		0%			
		33.9%	H28	16.8%	R4				
		12.3%		3.0%					
		34.6%		8.4%		10%			

(注)平成29年数値は、「鳥取県の中高生の喫煙、飲酒行動及び生活習慣に関する実態調査」のデータで定義等が異なる。

⑤飲酒

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をする人の割合	自記式質問票により、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者とし、以下の方法で算出。 ①男性:「毎日×2台以上」+「週5～6日×2台以上」+「週3～4日×3台以上」+「週1～2日×5台以上」+「月1～3日×5台以上」 ②女性:「毎日×1台以上」+「週5～6日×1台以上」+「週3～4日×1台以上」+「週1～2日×3台以上」+「月1～3日×5台以上」 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	19.0%	H28	12.4%	R4	10.0%		10.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標では男女別の区分なし
		8.0%		6.0%		4.0%			
未成年者の飲酒の割合 (注)	最近1年ぐらゐの間に「酒を飲んだことがあるか」という質問に対して、「ときどきある」と「1～2度ある」を合計した割合。 (鳥取県青少年育成意識調査)	17.4%	H28	7.5%	R3	0%		0%	厚生労働省科学研究費による研究班の調査 ※記載の目標値は、中学1～3年、高校1～3年の男女の平均
		21.6%		10.6%	R3	0%		0%	

(注)平成29年数値は、「鳥取県の中高生の喫煙、飲酒行動及び生活習慣に関する実態調査」のデータで定義等が異なる。

⑥ 歯・口腔の健康

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	調査年(度)	目標値	データソース
自分の歯を有する者の割合	歯科医師が各人に口腔診査を行い、「歯の状況」で各人の歯の本数を集計し、年代別に当該区分の割合を算出。 (県民歯科疾患実態調査)	35.1%	H28	50.5%	R4	85.0%	—	—	—
		61.2%		68.4%		95.0%			
		15.5%		17.5%		5%以下			
12歳児でむし歯のない者の割合(中学生1年生)	学校歯科健診で、永久歯のうち、う歯のない者の割合を算出。 (学校保健統計調査)	61.0%	H29	64.3%	R3	90.0%	—	—	

Ⅱ 生活習慣病の早期発見と早期治療、重症化予防

⑦ 糖尿病

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	調査年(度)	目標値	データソース
予備群	鳥取県保険者協議会に加入する各保険者(市町村国保及び被用者保険(ただし、H27は鳥取銀行健康保険組合、鳥取県市町村職員共済組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部、R3は鳥取銀行健康保険組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部を除く)における特定健診実績(HbA1c6.0以上6.5未満又は空腹時血糖110以上126未満の者で、糖尿病の治療に係る薬剤を服用していない者)から割合を算出。( )内に記載の推定数は、その割合を当該年の鳥取県年齢別推計人口(40～74歳)に乗じて算出。 (特定健診データをもとにH27は健康政策課、R3は国保連合会による算出)	6.8%	H27	10.0%	R3	5.0%	—	—	—
		(17,956人)		(25,971人)					
有病者	鳥取県保険者協議会に加入する各保険者(市町村国保及び被用者保険(ただし、H27は鳥取銀行健康保険組合、鳥取県市町村職員共済組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部、R3は鳥取銀行健康保険組合、警察共済組合鳥取支部、山陰自動車健康保険組合鳥取支部を除く)における特定健診実績(HbA1c6.5以上又は空腹時血糖126以上の者。HbA1c6.5未満又は空腹時血糖126未満の者で、糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者)から割合を算出。( )内に記載の推定数は、その割合を当該年の鳥取県年齢別推計人口(40～74歳)に乗じて算出。 (特定健診データをもとにH27は健康政策課、R3は国保連合会による算出)	6.8%	H27	9.7%	R3	6.0%	—	1,350万人	国民健康・栄養調査
		(17,956人)		(25,192人)					
メタボリックシンドロームの割合(40～74歳)	鳥取県内の保険者における特定健診実績(国への法定報告)の数値。 ( )内に記載の推定数は、その割合を当該年の鳥取県年齢別推計人口(40～74歳)に乗じて算出。 (特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	11.5%	H27	12.1%	R3	9.0%	—	25.0%減少	特定健康診査・特定保健指導の実施状況
		(30,367人)		(31,425人)		11.0%		(42,333人)	

特定健診・特定保健指導	特定健診実施率	鳥取県内の保険者における特定健診実績(国への法定報告)の数値。 (特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	45.9%		54.4%	70.0%	70.0%	特定健康診査・特定保健指導の実施状況
	特定保健指導実施率	鳥取県内の保険者における特定健診実績(国への法定報告)の数値。 (特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	24.6%	H27	24.3%	45.0%	45.0%	
	特定保健指導対象者数	鳥取県内の保険者における特定健診実績(国への法定報告)の数値。 (特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	18,187人		22,218人	18,900人	—	—

### ⑧循環器病

項目	定義(データソース)	平成29年 調査年(度)		令和5年 調査年(度)		令和11年 目標値		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値		現状値		目標値		目標値	データソース
高血圧症の割合 (40～74歳)	予備群	12.8% (33,800人)		13.5% (35,061人)		12.0%		国民健康・栄養調査 ※国の指標は「収縮期血圧の平均値(40歳以上、内服加療中の者も含む。)」 ※令和6年国民健康・栄養調査の結果をもとに設定予定	
	有病者	35.5% (93,743人)	H27	41.7% (108,299人)	R3	33.0%			

高血圧症の割合 (40～75歳)	未治療者	鳥取県保険者協議会に加入する各保険者(ただし、H27は鳥取銀行健康保険組合鳥取県支部、鳥取県市町村職員共済組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部、R3は鳥取銀行健康保険組合鳥取県支部、山陰自動車健康保険組合鳥取支部を除く)における特定健診実績(収縮期血圧140以上又は拡張期血圧90以上の者で高血圧症の治療に係る薬剤を服用していない者)から割合を算出。 (特定健診データをもとにH27は健康政策課、R3は国保連合会による算出)	45.3%	H27	43.4%	R3	40.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標は「収縮期血圧の平均値(40歳以上、内服加療中の者も含む。)」 ※令和6年国民健康・栄養調査の結果をもとに設定予定
	有病者	鳥取県保険者協議会に加入する各保険者(ただし、H27は鳥取銀行健康保険組合、警察共済組合鳥取県支部、鳥取県市町村職員共済組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部、R3は鳥取銀行健康保険組合鳥取県支部、山陰自動車健康保険組合鳥取支部を除く)における特定健診実績(LDLコレステロール140以上の者。LDLコレステロール140未満の者で脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者)から割合を算出。( )内に記載の推定数は、その割合を当該年の鳥取県年齢別推計人口(40～74歳)に乗じて算出。 (特定健診データをもとにH27は健康政策課、R3は国保連合会による算出)	40.7% (107,475人)	H27	45.0% (116,869人)	R3	40.0%	国民健康・栄養調査 ※国指標では「LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合(40歳以上、内服加療中の者も含む。)」 ※令和6年国民健康・栄養調査の結果をもとに設定予定
脂質異常症の割合 (40～74歳)	未治療者	鳥取県保険者協議会に加入する各保険者(市町村国保及び被用者保険(ただし、H27は鳥取銀行健康保険組合、警察共済組合鳥取県支部、鳥取県市町村職員共済組合、山陰自動車健康保険組合鳥取支部、R3は鳥取銀行健康保険組合、警察共済組合鳥取県支部、山陰自動車健康保険組合鳥取支部を除く)における特定健診実績(LDLコレステロール140以上の者で脂質異常症の治療に係る薬剤を服用していない者)から割合を算出。 (特定健診データをもとにH27は健康政策課、R3は国保連合会による算出)	47.9%	H27	62.3%	R3	40.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標は「収縮期血圧の平均値(40歳以上、内服加療中の者も含む。)」 ※令和6年国民健康・栄養調査の結果をもとに設定予定



⑨がん

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データソース
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり)	全体	84.1人		68.1人		61.0人	減少	人口動態統計 ※国指標では、75歳未満に限定しない
	男性	114.3人	H28	87.3人	R3	74.0人	—	
	女性	55.7人		50.3人		46.0人	—	
がん検診受診率	胃がん (40～69歳)	44.7%		46.4%			60.0%	国民生活基礎調査
	肺がん (40～69歳)	52.3%		56.3%			60.0%	
	大腸がん (40～69歳)	43.5%	H28	48.6%	R4	70%以上	60.0%	
	子宮がん (20～69歳)	44.8%		44.1%			60.0%	
	乳がん (40～69歳)	45.5%		45.5%			60.0%	

⑩COPD(慢性閉塞性肺疾患)

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データソース
COPDの年齢調整死亡率の減少(注)	男性	8.1人	H28	24.5人	R3	20.0人	10.0人	人口動態統計 ※国の指標では男女別の区分なし
	女性	0.5人		2.0人		減少		

(注)平成28年と令和3年は比較するモデル人口が異なるため、単純比較は出来ないもので注意が必要。

Ⅲ 社会環境の整備

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現況値	調査年(度)	現況値	調査年(度)		目標値	データソース
社会活動に参加している者の割合	学習・自己啓発活動	31.3%		34.1%		40.0%		国民健康・栄養調査 ※国の指標は「いずれかの社会活動(就労・就学を含む。)を行っている者の割合の増加」 ※令和6年国民健康・栄養調査の結果をもとに設定予定
	ボランティア活動	32.2%		24.1%		30.0%		
	スポーツ	65.2%	H28	61.2%	R3	65.0%		
	趣味・娯楽	83.1%		81.7%		85.0%		
	旅行・行楽	68.7%		38.4%		45.0%		



#### IV ライフコースアプローチャを踏まえた健康づくり

##### (1) 子どもの健康

項目	定義(データソース)	平成29年 調査年(度)		令和5年 調査年(度)		令和11年 目標値		参考: 国の指標(令和11年) データソース	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
鳥取県体力・運動能力調査において、体育の授業を除く1日の運動時間が1時間以上の児童の割合(小学生)	自記式質問票により「運動運動やスポーツをすることは1日にどのくらいの時間しますか(体育の授業を除きます)」の質問に対し「1時間以上2時間未満」または「2時間以上」と回答した者の割合。 (鳥取県体力・運動能力調査)	66.2%	H28	66.2%	R4	70.0%		4.4%	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ※記載の目標値は「1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合」
		47.9%		48.1%		50.0%		7.2%	
朝食を欠食する児童・生徒の割合	小中学生を対象としたアンケートを実施し、朝食の摂取状況について、「食べない日もある」、「食べない」と回答者が欠食者として、割合を算出。 (鳥取県学校栄養士協議会調査)	14.2%	H27	15.0%	R3	10.0%		—	—
肥満傾向の子どもの割合	肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者。肥満度＝(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100 (学校保健統計)	6.8%		10.0%		7.0%		減少	学校保健統計 ※国の指標は小学5年生、中学生のそれぞれ男子・女子
		5.3%	H28	8.9%	R3	6.0%			
		6.8%		8.6%		6.0%			

##### (2) 女性の健康

項目	定義(データソース)	平成29年 調査年(度)		令和5年 調査年(度)		令和11年 目標値		参考: 国の指標(令和11年) データソース	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
20歳代女性のやせの者の割合	やせの者とは、BMI<18.5kg/m <sup>2</sup> の者。 BMI＝体重kg/身長m <sup>2</sup> (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	33.3%	H28	15.0%	R4	10.0%		15.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「BMI18.5未満の20歳～30歳代女性の割合の減少」
骨粗鬆症検診を実施する市町村の数	健康増進事業補助金の実績報告書で「骨粗鬆症検診」の実績を報告した市町村数 (健康政策課調べ)	—	—	8市町村	R4	19市町村		15.0%	日本骨粗鬆症財団報告 ※記載の目標値は「骨粗鬆症検診の受診率の向上」
骨粗鬆症検診要精密検査の者の割合	市町村が実施する骨粗鬆症検診の受診者のうち、指導区分が「要精検者」の者の割合 (地域保健・健康増進事業報告)	17.9%	H28	15.3%	R3	12.5%			

(3)働き盛り世代の健康

項目	定義(データソース)	平成29年 調査年(度)		令和5年 調査年(度)		令和11年 目標値	参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データソース
20～64歳の適正体重の者	適正体重の者とは、BMIが18.5kg/m <sup>2</sup> 以上25kg/m <sup>2</sup> 未満の者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	男性	—	66.9%	R4	70.0%	66.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標では男女別の区分なし
		女性	—	69.4%		75.0%		
運動習慣者(意識的に運動する者)の割合(20～64歳)	自記式質問票により、運動を1回30分以上、週2回以上、1年以上継続していると回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	男性	19.3%	16.4%	R4	20.0%	30.0%	国民健康・栄養調査
		女性	8.4%	11.4%		20.0%		
歯周病を有する者の割合	歯科医師が各人に口腔診査を行い、「歯肉の状況」で所見有に該当した者のうち、年代別に当該区分の割合を算出。 (県民歯科疾患実態調査)	20歳代(歯肉に炎症所見を有する者)	65.8%	68.2%	H28	50.0%以下	—	—
		40歳代(進行した歯周炎を有する者)	31.1%	46.0%		30.0%以下	40.0%	歯科疾患実態調査 ※記載の目標値は「40歳以上における歯周炎を有する者の割合」
		60歳代(進行した歯周炎を有する者)	50.3%	63.9%		40.0%以下	—	
筋力アップを目的とした活動を行っている者の割合(20～64歳)	自記式質問票により、筋力アップを目的とした活動を「毎日している」または「時々している」と回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	男性	—	32.6%	R4	40.0%	—	—
		女性	—	28.8%		35.0%		
ストレスを感じた者の割合(直近1ヶ月でストレスが大いにあったと感じた者)(20～64歳)	自記式質問票により、「ここ1ヶ月間に不満、悩み、苦勞などによるストレスがありましたか」という質問に対して、「大いに」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	男性	9.1%	14.2%	R4	10.0%以下	—	—
		女性	12.1%	18.5%		—		

(4) 高齢期の健康

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現況値	調査年(度)	現況値	調査年(度)	目標値	調査年(度)	目標値	データソース
65歳以上の低栄養傾向の者(BMI20以下)の割合	低栄養の者とは、BMI $\leq$ 20の者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	8.7%	H28	11.7%	R4	10.0%		13.0%	国民健康・栄養調査 ※国の指標は男女別の区分なし
		21.5%		26.0%		24.0%			
高齢者のたんぱく質の摂取状況(15%エネルギー未満の者を減らす)(65歳以上)	15%エネルギー未満の65歳以上の割合 %エネルギーとは総エネルギー摂取量に占める割合。 「日本人の食事摂取基準(2020年版)」で定める65歳以上男女のたんぱく質の目標値(%エネルギー)は15~20%。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	—	—	48.7%	R4	40.0%		—	—
		—		37.9%		30.0%		—	—
運動習慣者(意識的に運動する者)の割合(65歳以上)	自記式質問票により、運動を「1回30分以上、週2回以上、1年以上継続している」と回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	34.9%	H28	31.2%	R4	40.0%		50.0%	国民健康・栄養調査
		35.1%		33.3%		40.0%		50.0%	
筋力アップを目的とした活動を行っている者の割合(65歳)	自記式質問票により、筋力アップを目的とした活動を「毎日している」または「時々している」と回答した者。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	—	—	37.9%	R4	40.0%		—	—
		—		41.1%		45.0%		—	—
通いの場への参加率	厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等(地域支援事業)の実施状況に関する調査」 ※65歳以上人口に占める割合で、厚生労働省調査をもとに県長寿社会課で独自に集計	5.3%	H28	8.2%	R3	10.0%(R8)		—	—
65歳以上の共食をする機会が少ない者の割合(ほとんどない又は週1・2回の者)	「家族や友人と楽しく食卓を囲む」機会がどれくらいありますかとの間に「ほとんどない」又は「週1、2回」と答えた者の割合 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	25.6%	H28	24.7%	R4	20.0%		30.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「地域等で共食している者の割合」(年代別の区分なし)

## (2) 関連目標項目

### I 日常生活における生活習慣病の発生予防

#### ① 栄養・食生活

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考: 国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データソース
肥満者、やせ者の割合 (肥満(BMI25以上)、 やせ(BMI18.5未満))	40～50歳代男性 の肥満者	25.0%	H28	34.1%	R4	25.0%	30.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「20～ 60歳代男性の肥満者(B MI25以上の者)の割合の 減少」
	40歳代女性の肥 満者	22.2%		31.0%		15.0%	15.0%	国民健康・栄養調査 ※記載の目標値は「40～ 60歳代女性の肥満者(B MI25以上の者)の割合の 減少」
1日の果物摂取量	成人	97.9g	H28	97.1g	R4	200g	200g	国民健康・栄養調査 ※国の指標では年代別 の区分なし
	20～50歳代	61.4g		55.8g		50g増加		
脂防エネルギー比率	20歳代	28.9%	H28	30.8%	R4	30.0%	-	
	40～60歳代	27.4%		29.2%		25.0%		
カルシウムに富む食品 の摂取量	1日の牛乳・乳製 品摂取量(成人)	102.7g	H28	10.3g	R4	130g	-	
	1日の豆・豆製品 摂取量	63.4g		63.4g		100g	-	
	1日の緑黄色野菜 摂取量	84.4g		100.9g		120g	-	

#### ② 身体活動・運動

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年 目標値	参考: 国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)		目標値	データソース
「ウォーキング立県19のまちを歩こう事 業」認定大会数(参加延べ人数)	「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」実行委員会が認 定するウォーキング大会数(参加延べ人数) (健康政策課調べ)	76大会 (14,051 人)	H28	47大会 (6,082 人)	R4	70大会 (10,000人)	-	-
		71.3%		64.8%		69.9%	-	
スポーツ(ウォーキング・ 軽い体操を含む)の行動 者率	過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った10歳以上人 口に占める割合(行動者率) (社会生活基本調査)	59.6%	H28	57.9%	R3	63.3%	-	-

※(1)重点目標と重複する指標は省略

③休養・こころの健

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
自死者数	人口動態統計の死因別分類表において、死因が自殺に該当する者の数。 (人口動態統計)	82人	H28	82人	R3	-	-
うつ病の症状について知っている者の割合	自記式質問票により、「うつ病の症状について知っているますか」という質問に対して、「よく知っている」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	21.3%	H28	17.9%	R4	-	-
こころの相談窓口を知っている割合	自記式質問票により、「あなたは、心の健康や心の病気について相談できる所(相談窓口)を知っていますか」という質問に対して、「知っている」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	41.7%	H28	39.2%	R4	-	-

④喫煙

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
妊娠中の喫煙者の割合	妊娠届出時に妊婦に喫煙状況を聞き取り調査し、喫煙ありと回答のあった者の割合を算出。 (母子保健事業の実施状況等調査)	2.9%	H28	1.6%	R3	0%	母子保健調査
禁煙指導を受ける者の割合	自記式質問票により、たばこを吸ったことがある者のうち、「あなたは、今までもどこかで禁煙指導を受けたことがありますか」という質問に対して、「ある」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	21.3%	H28	15.9%	R4	-	-
未成年者や妊産婦のいる所で喫煙しない者の割合	自記式質問票により、たばこを吸ったことがある者のうち、「未成年・妊婦のいるところで、たばこを吸わないようにしていますか」という質問に対して、「吸わないようにしている」と回答した者。20歳以上が対象。 (県民健康栄養調査及び国民健康・栄養調査)	72.0%	H28	85.0%	R4	90.0%	-

施設内禁煙施設の割合	行政機関	県・市町村・国等の行政機関を対象にアンケート調査を実施し、「敷地内禁煙をしている」、「建物内全面禁煙である」と回答した施設の割合を算出。 (健康政策課調べ)	76.3%	98.2%	100%	国民健康・栄養調査 ※国の指標は「望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合」
	医療機関(病院)	医療機関を対象にアンケート調査を実施し、「敷地内全面禁煙である」、「建物内全面禁煙である」と回答した施設の割合を算出。 (健康政策課調べ)	79.2%	92.3%	R4	100%
	医療機関(診療所)		95.3%	98.8%		
	医療機関(歯科診療所)		93.4%	99.4%		
	医療機関(調剤薬局)		96.5%	99.5%		
敷地内禁煙を実施する学校の割合	教育機関を対象にアンケート調査を実施し、うち、公立の小・中・高等学校で、「敷地内全面禁煙である」と回答した学校数の割合を算出。 (健康政策課調べ)	91.4%	100%	R4	100%	

### ⑤ 飲酒

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
妊娠中の飲酒者の割合	妊娠届出時に妊婦に喫煙状況を聞き取り調査し、喫煙ありと回答のあった者の割合を算出。 (母子保健事業の実施状況等調査)	0.8%	H28	0.4%	R3	0.0%		—	—

### ⑥ 歯・口腔の健康

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
50歳以上における咀嚼良好者の割合	自記式質問票により、「食事の時、あなたはなんでもかめずか」という質問に対して、「なんでもかめず」と回答した者。 (県民歯科疾患実態調査)	64.3%	H28	70.4%	R4	85.0%		80.0%	国民健康・栄養調査
4本以上のむし歯がある3歳児の割合	市町村が行う3歳児健診で歯科健診を受診した児のうち、4本以上のむし歯がある者の割合。 (3歳児健康診査)	—	—	—	—	0%		—	—

歯周病を有する者の割合の減少	中学生	学校歯科健診で、歯肉に炎症があり「歯肉の状態」が「2」(歯科医師の診断)と判定された者。(学校保健統計調査)	4.6%	H28	4.8%	R4	1.0%以下	—
	高校生		5.3%	—	3.1%	—	1.0%以下	—
歯間用補助清掃器具(歯ブラシ以外)を使用している者の割合(30～50歳代)		自記式質問票により、「あなたは歯をみがく時、歯ブラシ以外に何か使っていますか」という質問に対して、選択項目(デンタルフロス、歯間ブラシ等)を選択して回答した者(複数回答あり)。(県民歯科疾患実態調査)	49.7%	H28	30.7%	R4	60%以上	—
定期的な歯科健診(検診)、フッ素塗布、保護者に対する歯科保健教育を実施する市町村(法定外のもの)		毎年行っている市町村対象の歯科保健事業実施状況(計画・実績)の調査において、就学前の歯科健診(検診)、フッ素塗布、歯科保健教育の実施者と回答した市町村数。(健康政策課調べ)	12市町村	H27	17市町村	R4	全市町村	—
過去1年間に歯科健診(検診)を受診した者の割合		自己式質問票により、「あなたは、過去1年間に歯科健診(検診)を受けましたか」という質問に対して、「はい」と回答した者。(県民歯科疾患実態調査)	43.4%	H28	52.1%	R4	70.0%	国民健康・栄養調査又は歯科疾患実態調査
成人歯科健診(検診)を実施する市町村数		毎年行っている市町村対象の歯科保健事業実施状況(計画・実績)の調査において、成人歯科健診(検診)の実施者と回答した市町村数。(健康政策課調べ)	7市町村	H27	17市町村	R4	全市町村	—

## II 生活習慣病の早期発見と早期治療、重症化予防

### ⑦糖尿病

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース	目標値	データソース
合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)	糖尿病腎症により、当該年に新規に透析を導入される患者の数。(日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現状」)	73人	H27	73人	R3	70人	—	12,000人	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現状」
鳥取県・糖尿病医療連携登録医	鳥取県・糖尿病医療連携登録医に登録している医師数。(健康政策課調べ)	148人	H28	150人	R5	165人	—	—	—
鳥取県糖尿病療養指導士	鳥取県糖尿病療養指導士認定機構に認定された糖尿病療養指導士数。(健康政策課調べ)	53人	H28	199人	R5	219人	—	—	—



⑧循環器病

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	目標値	データソース
脳血管疾患の年齢調整死亡率 (10万人当たり)(注)	人口動態統計の年齢調整死亡率(死因別)の表において、死因が脳血管疾患に該当する者の数。 (人口動態統計)	H28	43.4人	R4	92.8人	R4	89.0人	減少	人口動態統計
			21.6人		68.7人		65.0人		
虚血性心疾患の年齢調整死亡率 (10万人当たり)(注)	人口動態統計の年齢調整死亡率(死因別)の表において、死因が急性心筋梗塞及びその他の虚血性心疾患に該当する者の数。 (人口動態統計)	H28	38.4人	R4	70.5人	R4	低減	減少	人口動態統計
			10.6人		25.0人				

※平成28年と令和3年は比較するモデル人口が異なるため、単純比較は出来ないもので注意が必要。  
(平成28年は昭和60年、令和3年は平成27年人口を用いて算出)

⑨がん

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		調査年(度)	現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	目標値	データソース
市町村が実施するがん検診の受診率	胃がん	H27	27.0%	R3	26.9%	R3	50.0%	-	-
	肺がん		28.9%		29.7%				
	大腸がん		31.7%		29.7%				
	子宮がん	H27	33.5%	R3	34.9%	R3	95.0%	-	-
	乳がん		32.2%		30.2%				
	胃がん		84.7%		83.7%				
市町村が実施するがん検診の精密検査受診率	肺がん	H27	89.7%	R3	89.6%	R3	95.0%	-	-
	大腸がん		77.1%		76.4%				
	子宮がん		86.8%		80.5%				
	乳がん		95.3%		94.8%				
	胃がん		83.7%		83.7%				

### Ⅲ 社会環境の整備

項目	定義(データソース)	平成29年		令和5年		令和11年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	調査年(度)	目標値	データソース
健康づくり活動やボランティアに従事する県民の数	健康づくり推進員や生活改善推進員など、地域で健康づくり活動やボランティア活動に従事する県民の数 (健康政策課調べ)	—	—	4,674人	R5	増やす	—	—	—
健康経営マイレージ事業に参加する事業所数(STEP1)	協会けんぽと鳥取県が連携して実施する健康経営マイレージ事業において、「社員の健康づくり宣言」を行った事業所数。(協会けんぽ調べ)	1087事業所	H28	2327事業所	R4	3000事業所	—	—	—
健康経営マイレージ事業に参加する事業所のうち、個別目標を設定する事業所数(STEP2)	「社員の健康づくり宣言」を行った事業所のうち、個別目標を設定している事業所数。(協会けんぽ調べ)	—	—	8事業所	R5	全事業所	—	—	—

(3) その他の参考データ  
プランの理念・目的

項目	定義(データベース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値 調査年(度)	調査年(度)	現状値 調査年(度)	調査年(度)	目標値	データベース
平均寿命  圏域間の健康格差(日常生活動作が自立している期間の平均の各圏域の格差の縮小)	簡易生命表により算出 (完全生命表がある年は完全生命表を使用)  介護保険の要介護度の要介護2～5の者を不健康(要介護)な状態、それ以外の者を健康(自立)な状態三日日常生活動作が自立している者とし(介護保険は0～39歳は対象外であるため、不健康割合は0と仮定する)、厚生労働省より提供された健康寿命算定プログラムに、5歳階級ごとの該当人数を当てはめ、健康寿命を算出する。 (健康政策課調べ(厚生労働省より提供された健康寿命算定プログラムにより算出))	男性	H27	81.34年 (28位)	R2	健康寿命の増 増>平均寿 命の増	国民生活基 礎調査 平均寿命:簡易生命表
		女性	H27	87.91年 (13位)	R2		
		男性	H26	鳥取県 78.11年 ①東部圏域 78.41年 ②中部圏域 77.42年 ③西部圏域 79.68年 (圏域間格差: 0.99年)	R2	日常生活に 制限のない 期間の平 均の上位4 分の1の都 道府県の 平均の増 加分を上回 る下位4分 の1の都道 府県の平 均の増加	国民生活基礎調査 (大規模調査:3年 ごと)の調査結果、 簡易生命表をもと に厚生労働科学研 究において算出
		女性	H26	鳥取県 83.74年 ①東部圏域 83.58年 ②中部圏域 83.62年 ③西部圏域 83.89年 (圏域間格差: 0.31年)	R2		

II 生活習慣病の早期発見と早期治療、重症化予防

⑦糖尿病

項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考・国の指標(令和11年)				
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース			
県内医療保険者の現状(糖尿病予備群)	市町村国保	10.0%	H27	12.2%	R3	—	—			
	鳥取県医師国保組合	5.1%		6.4%		—				
	全国健康保険協会鳥取支部	5.9%		7.3%		—				
	公立学校共済組合鳥取県支部	7.9%		6.2%		—				
	警察共済組合鳥取県支部	3.1%		5.2%		—				
	地方職員共済組合鳥取県支部	6.5%		7.7%		—				
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—				
	鳥取県市町村職員共済組合	—		10.9%		—				
	山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—		—		—				
	市町村国保	10.2%		H27		12.7%		R3	—	—
	鳥取県医師国保組合	5.1%				4.5%			—	
	全国健康保険協会鳥取支部	6.6%				8.2%			—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	5.3%				5.3%			—	
	警察共済組合鳥取県支部	6.1%				—			—	
地方職員共済組合鳥取県支部	4.8%	5.8%	—							
鳥取銀行健康保険組合	—	—	—							
鳥取県市町村職員共済組合	—	5.6%	—							
山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—	—	—							
県内医療保険者の現状(糖尿病有病者)	市町村国保	10.2%	H27	12.7%	R3	—	—			
	鳥取県医師国保組合	5.1%		4.5%		—				
	全国健康保険協会鳥取支部	6.6%		8.2%		—				
	公立学校共済組合鳥取県支部	5.3%		5.3%		—				
	警察共済組合鳥取県支部	6.1%		—		—				
	地方職員共済組合鳥取県支部	4.8%		5.8%		—				
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—				
鳥取県市町村職員共済組合	—	5.6%	—							
山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—	—	—							

項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
県内医療保険者の現状(メタボリックシンドローム予備群)	市町村国保	10.4%		10.7%		—	—
	鳥取県医師国保組合	10.7%		8.0%		—	—
	全国健康保険協会鳥取支部	12.1%		12.7%		—	—
	公立学校共済組合鳥取県支部	11.5%		11.5%		—	—
	警察共済組合鳥取県支部	12.5%	H27	13.5%	R3	—	—
	地方職員共済組合鳥取県支部	10.0%		9.4%		—	—
	鳥取銀行健康保険組合	8.2%		9.8%		—	—
	鳥取県市町村職員共済組合	9.2%		8.2%		—	—
	山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—		—		—	—
	市町村国保	15.7%		19.9%		—	—
	鳥取県医師国保組合	5.8%		8.9%		—	—
	全国健康保険協会鳥取支部	12.2%		15.8%		—	—
	公立学校共済組合鳥取県支部	10.9%		12.5%		—	—
	警察共済組合鳥取県支部	12.5%	H27	11.1%	R3	—	—
地方職員共済組合鳥取県支部	13.7%		13.1%		—	—	
鳥取銀行健康保険組合	11.2%		12.2%		—	—	
鳥取県市町村職員共済組合	12.9%		11.9%		—	—	
山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—		—		—	—	

項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
県内医療保険者の現状(特定健診実施率)	市町村国保	31.7%	H27	34.5%	R3	—	—
	鳥取県医師国保組合	16.0%		38.8%		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	45.5%		60.2%		—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	85.7%		86.0%		—	
	警察共済組合鳥取県支部	84.0%		89.1%		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	83.1%		88.9%		—	
	鳥取銀行健康保険組合	89.4%		93.7%		—	
	鳥取県市町村職員共済組合	85.0%		87.2%		—	
	山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	76.7%		83.1%		—	
	市町村国保	27.4%		H27		29.3%	R3
鳥取県医師国保組合	8.3%	4.3%	—				
全国健康保険協会鳥取支部	32.9%	19.7%	—				
公立学校共済組合鳥取県支部	13.8%	28.8%	—				
警察共済組合鳥取県支部	51.8%	40.3%	—				
地方職員共済組合鳥取県支部	17.2%	22.9%	—				
鳥取銀行健康保険組合	50.5%	46.3%	—				
鳥取県市町村職員共済組合	11.1%	30.0%	—				
山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	19.7%	3.4%	—				
県内医療保険者の現状(特定健診指導実施率)	特定保健指導実績の数値。 (国保連合会調べ)						

⑧循環器病

項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
県内医療保険者の現状(高血圧症予備群)	市町村国保	13.6%	H27	13.7%	R3	—	—
	鳥取県医師国保組合	19.2%		11.7%		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	12.4%		13.8%		—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	12.6%		10.9%		—	
	警察共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	12.1%		12.1%		—	
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—	
	鳥取県市町村職員共済組合	—		13.8%		—	
	山陰自動車健康保険組合鳥取支部	—		—		—	
	市町村国保	49.5%		54.7%		—	
	鳥取県医師国保組合	23.2%		29.2%		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	27.9%		36.6%		—	
県内医療保険者の現状(高血圧症有病者)	公立学校共済組合鳥取県支部	24.3%	H27	28.5%	R3	—	—
	警察共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	25.6%		26.7%		—	
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—	
	鳥取県市町村職員共済組合	—		30.9%		—	
	山陰自動車健康保険組合鳥取支部	—		—		—	
	市町村国保	34.3%		31.7%		—	
	鳥取県医師国保組合	37.9%		30.0%		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	56.5%		52.2%		—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	59.1%		57.3%		—	
	警察共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	55.6%		53.3%		—	
鳥取銀行健康保険組合	—	—	—				
鳥取県市町村職員共済組合	—	59.8%	—				
山陰自動車健康保険組合鳥取支部	—	—	—				
県内医療保険者の現状(高血圧症未治療者)	市町村国保	—	H27	—	R3	—	—
	鳥取県医師国保組合	—		—		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	—		—		—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	警察共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	—		—		—	
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—	
	鳥取県市町村職員共済組合	—		—		—	
	山陰自動車健康保険組合鳥取支部	—		—		—	
	市町村国保	—		—		—	
	鳥取県医師国保組合	—		—		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	—		—		—	



項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
県内医療保険者の現状(脂質異常症有病者)	市町村国保	50.3%	H27	54.3%	R3	—	—
	鳥取県医師国保組合	34.4%		43.5%		—	
	全国健康保険協会鳥取支部	35.2%		40.0%		—	
	公立学校共済組合鳥取県支部	35.7%		42.5%		—	
	警察共済組合鳥取県支部	33.2%		—		—	
	地方職員共済組合鳥取県支部	35.7%		37.6%		—	
	鳥取銀行健康保険組合	—		—		—	
	鳥取県市町村職員共済組合	—		40.5%		—	
	山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—		—		—	
	市町村国保	30.4%		H27		45.9%	
鳥取県医師国保組合	39.3%	57.7%	—				
全国健康保険協会鳥取支部	66.4%	74.0%	—				
公立学校共済組合鳥取県支部	66.2%	78.5%	—				
警察共済組合鳥取県支部	69.5%	—	—				
地方職員共済組合鳥取県支部	53.9%	74.1%	—				
鳥取銀行健康保険組合	—	—	—				
鳥取県市町村職員共済組合	—	71.4%	—				
山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—	—	—				
県内医療保険者の現状(脂質異常症未治療者)	市町村国保	30.4%	H27		45.9%	R3	—
	鳥取県医師国保組合	39.3%		57.7%	—		
	全国健康保険協会鳥取支部	66.4%		74.0%	—		
	公立学校共済組合鳥取県支部	66.2%		78.5%	—		
	警察共済組合鳥取県支部	69.5%		—	—		
	地方職員共済組合鳥取県支部	53.9%		74.1%	—		
	鳥取銀行健康保険組合	—		—	—		
	鳥取県市町村職員共済組合	—		71.4%	—		
	山陰自動車業健康保険組合鳥取支部	—		—	—		

Ⅲ 社会環境の整備

項目	定義(データソース)	平成28年		令和5年		参考:国の指標(令和11年)	
		現状値	調査年(度)	現状値	調査年(度)	目標値	データソース
住民を対象とした各種健康教育等に取り組む市町村数  職域における健康管理対策	各市町村に聞き取り調査を行い、糖尿病予防の集団健康教育の実施回数について、各市町村が回答した当該年度の実施回数の合計。 (健康政策課調べ)	132回	H28	159回	R4	—	—
	各市町村に聞き取り調査を行い、「生活習慣病予防のための自主グループの育成に取り組んでいるか」の質問に対して、「はい」と回答した市町村の数。 (健康政策課調べ)	9市町村	H28	6市町村	R4	—	—
	特定健診を受ける事業所数	3,830/8,561事業所		4,478/9,034事業所		—	—
	労働安全衛生法上の健康診断結果を特定保健指導に活用する事業所数	188/4,731事業所		229/4,556事業所		—	—
	特定保健指導を受ける事業所	1,357/2,088事業所		597/2,440事業所		—	—
	特定健診の結果が、140mmHg≦収縮期血圧<160mmHg又は90mmHg≦拡張期血圧<100mmHgの者の割合	—	H28	23.8% (12,749人)	R5	—	—
	特定健診の結果が、140mg/dL≦LDL<180mg/dL(又は170mg/dL≦Non-HDL<210mg/dL)又は300mg/dL≦TG<500mg/dLの者の割合	—		25.4% (13,613人)		—	—
	特定健診の結果が、HbA1c6.5以上の者の割合	—		1.8% (961人)		—	—
		特定健診の結果から算出。 (協会けんぽ調べ)					